



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月4日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東
 コード番号 7453 URL <https://ryohin-keikaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 暁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画室長 (氏名) 武内 健治 TEL 03-3989-5972
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月5日 配当支払開始予定日 平成29年11月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	182,988	13.2	21,130	6.9	21,559	24.0	14,584	24.5
29年2月期第2四半期	161,717	9.7	19,758	22.9	17,393	6.9	11,715	12.9

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 12,914百万円 (133.8%) 29年2月期第2四半期 5,523百万円 (△58.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	554.98	553.64
29年2月期第2四半期	441.02	439.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	218,124	161,024	71.9	5,982.20
29年2月期	214,705	157,018	71.3	5,791.78

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 156,883百万円 29年2月期 153,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	-	137.00	-	156.00	293.00
30年2月期	-	162.00	-	-	-
30年2月期(予想)	-	-	-	162.00	324.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	377,800	13.4	42,600	11.3	42,800	10.9	28,800	11.5	1,098.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規一社（社名 ー）、除外一社（社名 ー）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は、【添付資料】P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項」
をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	28,078,000株	29年2月期	28,078,000株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	1,852,966株	29年2月期	1,656,122株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	26,279,828株	29年2月期2Q	26,565,308株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、【添付資料】P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2017年4-6月期の実質GDPの成長率が前期比プラス0.6%（年率換算2.5%）となり、6四半期連続のプラス成長となりました。個人消費は前期比年率プラス3.4%、住宅投資は同プラス5.1%、設備投資も同プラス2.1%と内需の堅調さが際立っており、景気回復の底堅さが伺えます。

また、世界経済は、ユーロ圏の4-6月期の実質GDP成長率が前期比プラス0.6%と高めの伸びを維持しています。需要項目別の内訳は未公表ながら、実質小売上や建設業生産が加速したことから、内需が堅調に推移しています。米国においても、実質GDP成長率は米国経済のメインドライバーである個人消費が持ち直したことで前期比年率プラス2.6%と前期から加速しており、底堅い成長を維持しています。一方、中国においては、4-6月期の実質GDP成長率は前年比プラス6.9%と前期と同じ伸びとなり、生産能力の調整を含む投資減速を輸出と個人消費の加速が補い、狭いレンジ内（プラス6.7~6.9%）の安定成長が2年に亘り持続しています。中国以外のアジア諸国・地域については、個人消費を中心に内需が底堅さを維持しています。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良いくらし」を実現する企業”として、『ムダをなくす取組み（廃棄物削減）』『天然資源の保全』『安心・安全への配慮』『絆を大切にする活動』『温暖化への配慮』といったテーマを軸に、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

営業収益	1,829億88百万円	（前年同期比	13.2%増）
売上高	1,826億1百万円	（前年同期比	13.2%増）
営業利益	211億30百万円	（前年同期比	6.9%増）
経常利益	215億59百万円	（前年同期比	24.0%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	145億84百万円	（前年同期比	24.5%増）

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、文中の店舗数は、無印良品、MUJIcom、MUJI to Go、Cafe MUJI、Cafe&Meal MUJI、イデー店舗の合計を表記しております。

① 国内事業

国内事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,174億23百万円（前年同期比11.0%増）、セグメント利益は150億6百万円（同37.3%増）と増収増益となりました。

当第2四半期連結会計期間末の国内店舗数は、455店舗（前期末差3店舗増）となりました。

衣服・雑貨では紳士ウェアが全般的に好調であったことに加えて、価格見直しを実現した「ハードキャリーシリーズ」の販売が好調でした。生活雑貨では小物の雑貨が好調に推移いたしました。特にスキンケア用品の「マイルドクレンジングシリーズ」や「バランス肌シリーズ」などが好調でした。食品では「カレーシリーズ」に加えて「ごはんにかけるシリーズ」などのレトルトラインが好調に推移いたしました。また新規で発売した「ひとくちウエハース」も順調に売上を伸ばしました。

② 東アジア事業

東アジア事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は505億94百万円（前年同期比17.1%増）、セグメント利益は70億91百万円（同23.6%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、307店舗（前期末差15店舗増）となりました。

中国を中心に、新規出店を重ねたことに加えて既存店も堅調に推移したことにより、2桁増収となりました。中国においては住空間関連商品の販売を強化したことにより、リビング家具および収納家具などのファニチャーやファブリックスが伸びました。

一方、前年同期には大幅な円安ピーク時に調達した商品販売が中心となり、大幅に差益率が上昇しましたが、当第2四半期連結累計期間においては、実勢の為替レートによる調達コストの商品販売となったため、前年同期に対して原価率が上昇、セグメント利益を押し下げる結果となりました。為替影響を除けば安定した差益率を維持しております。

③ 欧米事業

欧米事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は89億45百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント損失は11億9百万円（前年同期は7億65百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、70店舗（前期末差1店舗増）となりました。

再建策を進める欧州では、前期に不採算店の整理を進めたことに加え、当第2四半期連結累計期間においては既存店の売上高が前年同期を上回る等、回復基調が持続しています。一方、米国においては2店舗の新規出店の影響により開店前コストが嵩み、販管費が増加いたしました。

④ 西南アジア・オセアニア事業

西南アジア・オセアニア事業の当第2四半期連結累計期間の営業収益は60億24百万円(前年同期比26.2%増)、セグメント損失は1億66百万円(前年同期は52百万円の利益)になりました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、61店舗(前期末差4店舗増)となりました。

シンガポールやタイなど全地域において増収となりましたが、シンガポールにおいては旗艦店開店に向けた在庫が増加したことによる物流費の増加、またタイにおいても開店前コストが高み、販管費が増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、2,181億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億19百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加11億49百万円、受取手形及び売掛金の増加5億74百万円、直営店の出店及び改装による有形固定資産の増加5億12百万円、敷金及び保証金の増加5億66百万円によるものです。

負債は570億99百万円となり、5億86百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金の減少27億5百万円及び長期借入金の増加18億24百万円によるものです。

純資産は1,610億24百万円となり、40億5百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加104億63百万円、自己株式の増加48億75百万円、繰延ヘッジ損益の減少7億22百万円及び為替換算調整勘定の減少6億54百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の71.3%から71.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年4月12日付「平成29年2月期 決算短信」にて発表いたしました、平成30年2月期(平成29年3月1日～平成30年2月28日)通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年10月4日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,555	39,705
受取手形及び売掛金	7,929	8,503
商品	72,527	71,906
仕掛品	91	78
貯蔵品	52	49
繰延税金資産	1,376	2,031
未収入金	8,807	8,679
その他	2,144	2,579
貸倒引当金	△49	△46
流動資産合計	131,435	133,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,477	47,227
減価償却累計額	△18,878	△20,308
建物及び構築物(純額)	26,598	26,918
機械装置及び運搬具	3,805	3,955
減価償却累計額	△1,639	△1,802
機械装置及び運搬具(純額)	2,165	2,152
工具、器具及び備品	17,877	18,980
減価償却累計額	△10,511	△11,587
工具、器具及び備品(純額)	7,365	7,392
土地	1,931	1,931
リース資産	44	44
減価償却累計額	△43	△43
リース資産(純額)	1	1
建設仮勘定	550	729
有形固定資産合計	38,613	39,125
無形固定資産		
のれん	5,907	5,607
その他	7,620	8,347
無形固定資産合計	13,528	13,955
投資その他の資産		
投資有価証券	10,917	10,596
繰延税金資産	448	476
敷金及び保証金	16,983	17,550
その他	2,916	3,066
貸倒引当金	△137	△134
投資その他の資産合計	31,128	31,555
固定資産合計	83,270	84,636
資産合計	214,705	218,124

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,096	18,282
短期借入金	3,000	294
1年内返済予定の長期借入金	7,887	7,500
未払金	5,987	5,679
未払費用	4,486	4,252
未払法人税等	5,711	6,534
賞与引当金	1,132	771
役員賞与引当金	71	39
返品調整引当金	33	26
ポイント引当金	73	53
その他	3,219	3,793
流動負債合計	50,699	47,227
固定負債		
長期借入金	—	1,824
繰延税金負債	4,782	4,890
役員退職慰労引当金	25	28
その他	2,179	3,128
固定負債合計	6,987	9,872
負債合計	57,686	57,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,785	10,785
利益剰余金	140,652	151,115
自己株式	△10,681	△15,557
株主資本合計	147,522	153,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,963	3,606
繰延ヘッジ損益	—	△722
為替換算調整勘定	1,543	889
その他の包括利益累計額合計	5,507	3,773
新株予約権	344	382
非支配株主持分	3,645	3,758
純資産合計	157,018	161,024
負債純資産合計	214,705	218,124

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	161,353	182,601
売上原価	80,619	91,417
売上総利益	80,734	91,183
営業収入	363	387
営業総利益	81,098	91,570
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,348	2,729
配送及び運搬費	6,583	7,606
従業員給料及び賞与	17,919	20,224
役員賞与引当金繰入額	33	39
借地借家料	15,821	17,593
減価償却費	3,642	4,142
ポイント引当金繰入額	△30	△19
その他	15,021	18,124
販売費及び一般管理費合計	61,339	70,440
営業利益	19,758	21,130
営業外収益		
受取利息	99	183
受取配当金	169	117
貸倒引当金戻入額	2	6
持分法による投資利益	—	1
その他	243	252
営業外収益合計	514	562
営業外費用		
支払利息	20	18
為替差損	2,834	79
その他	24	35
営業外費用合計	2,879	133
経常利益	17,393	21,559
特別利益		
固定資産売却益	0	16
特別利益合計	0	16
特別損失		
固定資産除却損	101	60
解約違約金	75	34
その他	1	1
特別損失合計	178	97
税金等調整前四半期純利益	17,215	21,478
法人税等	5,582	6,882
四半期純利益	11,632	14,595
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△82	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,715	14,584

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	11,632	14,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,228	△356
繰延ヘッジ損益	-	△722
為替換算調整勘定	△8,337	△603
持分法適用会社に対する持分相当額	-	0
その他の包括利益合計	△6,109	△1,681
四半期包括利益	5,523	12,914
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,170	12,851
非支配株主に係る四半期包括利益	△647	62

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	17,215	21,478
減価償却費	2,962	3,348
ソフトウェア投資等償却	799	960
のれん償却額	404	431
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△6
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△41	△31
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	3
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△15	10
受取利息及び受取配当金	△268	△301
支払利息	20	18
為替差損益(△は益)	144	△2
持分法による投資損益(△は益)	—	△1
固定資産除却損	101	60
売上債権の増減額(△は増加)	△1,221	△1,236
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,931	365
仕入債務の増減額(△は減少)	3,783	△705
その他の資産の増減額(△は増加)	△0	369
その他の負債の増減額(△は減少)	105	△281
新株予約権	36	38
その他	84	98
小計	15,174	24,615
利息及び配当金の受取額	269	306
利息の支払額	△15	△8
法人税等の支払額	△5,916	△6,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,512	18,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△390	△1,077
定期預金の払戻による収入	58	675
有価証券の取得による支出	△1,707	—
有形固定資産の取得による支出	△4,073	△4,050
店舗借地権及び敷金等の支出	△612	△704
店舗敷金等回収による収入	361	124
無形固定資産等の取得による支出	△1,077	△1,676
関係会社株式の取得による支出	—	△190
その他	△9	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,450	△7,102

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△368	△2,703
長期借入れによる収入	—	1,651
長期借入金の返済による支出	△5,712	△218
非支配株主からの払込みによる収入	505	50
自己株式の取得による支出	—	△5,066
自己株式の売却による収入	206	217
配当金の支払額	△3,615	△4,122
非支配株主への配当金の支払額	△62	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,047	△10,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,371	△495
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,357	843
現金及び現金同等物の期首残高	41,050	35,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 30,693	※ 36,231

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果自己株式は、当第2四半期連結累計期間に4,875百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において15,557百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	105,754	43,219	7,967	4,774	161,716	0	-	161,717
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	103	-	-	-	103	8,522	△8,626	-
計	105,858	43,219	7,967	4,774	161,820	8,523	△8,626	161,717
セグメント利益 又は損失(△)	10,925	9,277	△765	52	19,489	231	37	19,758

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額37百万円にはセグメント間取引消去14百万円、棚卸資産の未実現利益消去22百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	117,423	50,594	8,945	6,024	182,988	0	-	182,988
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	76	-	-	-	76	8,865	△8,942	-
計	117,500	50,594	8,945	6,024	183,064	8,866	△8,942	182,988
セグメント利益 又は損失(△)	15,006	7,091	△1,109	△166	20,822	237	70	21,130

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額70百万円にはセグメント間取引消去△2百万円、棚卸資産の未実現利益消去73百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績(営業収益)をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		営業収益(百万円)	前年同四半期比(%)
国内事業		117,423	111.0
東アジア事業	中国	30,807	116.6
	台湾	7,706	116.5
	香港	7,190	105.1
	韓国	4,889	146.9
	小計	50,594	117.1
欧米事業	アメリカ合衆国	2,986	117.8
	イギリス	1,626	105.0
	フランス	1,269	104.1
	ドイツ	887	100.6
	イタリア	795	106.5
	カナダ	682	160.8
	スペイン	442	117.2
	ポルトガル	123	144.5
	その他	131	89.3
	小計	8,945	112.3
西南アジア・オセアニア事業	シンガポール	2,115	116.7
	タイ	1,281	118.7
	オーストラリア	1,052	131.2
	マレーシア	679	131.5
	インド	194	—
	その他	701	124.5
	小計	6,024	126.2
計		182,988	113.2
その他(注)1		0	100.5
合計		182,988	113.2

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

3. 営業収益の商品別の構成は次のとおりであります。

商品別	営業収益(百万円)	前年同四半期比(%)
衣服・雑貨	68,254	113.3
生活雑貨	96,603	113.6
食品	11,501	110.6
その他	6,628	109.7
合計	182,988	113.2

(注) 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。